

平成25年度 第2回

西宮市参画と協働に関する条例評価委員会 会議録

日 時：平成25年6月12日（水）午後7時から9時

場 所：西宮市役所 東館8階804会議室

出席者：【委員】中川 幾郎（会長）、黒木 順子（副会長）、梶 泰享、川東 美千代、
茶谷 良明、正阿彌 崇子

【事務局】市民総括室参事 田中 智博、市民協働推進課長 三村 嘉伸、
同係長 安座間 昌三、同副主査 岡山 欽哉、同主事 水間 由依

1. 開会

事務局 挨拶

市民総括室参事 田中 より挨拶

2. 審議事項

議題1 傍聴に関する取扱について

今回は傍聴者が無しのため省略する。

議題2 平成24年度の協働の取組の検証について

事務局より

平成24年度 協働の取組について説明

- ・協働事業提案については10件の申込みがあり、内2件は事前に提案者より取り下げがなされ、8件が協働事業提案審査会の審査対象となる。そして、審査により6件が採択となり、市と提案団体と協議後に6事業を実施する。
- ・6件の提案団体の内訳、社会福祉事業団体2件、上記以外の公共・公益的団体1件、グループ及び互助的団体3件
- ・6件の局別の内訳、産業文化局1件、健康福祉局3件、都市局1件、教育委員会1件
- ・助成金の合計金額は1,189,000円（助成率：約63%）

(1)「船坂地区における学生の農業活動による近郊農業の振興と地産地消の推進」
大手前大学農業体験サークルPOMATO（ポマト）・農政課

事務局より

- ・自己評価書の差替え
- ・概要についての説明

委員

- ・協働事業の審査の時点で事業に不安があったので、担当課との連携や地元農家との関係を深めてほしいと付帯をつけたが、報告書を見る限り記載がない。
- ・大学生の農業体験自体は意味があることだが、計画書と内容にギャップがある。また担当課の協働として関わりが不十分ではないか。
- ・農業は年中やるべき事業であるので、この助成金額で出来るのか疑問がある。事業の内容から協働事業とするには中途半端ではないか。
- ・農業に対する意識がもっと必要である。また、船坂についても不勉強ではないか。
- ・もっと専門的な知識を持った方のアドバイスを受けるべきであったのではないか。
- ・農作業ではなく、農業を通して南部地域と北部地域をつなげる役割を学生がおこなうほうがよかったのではないか。
- ・テーマが広すぎるので、もっと焦点をしばって実施すべき。

会長

- ・この事業が社会的にどのような公益性を生み出したのか。
- ・近郊農業の振興について成果を出していないといけない。

評価

4. 不十分であり改善が必要である。

(2) 「その子らしく ありのままに 生きていける社会」についてみんなで考える場づくりプロジェクト

特定非営利活動法人 にしのみや次世代育成支援協会・わかば園事業課

事務局より

- ・概要についての説明

委員

- ・担当課との協議が不十分なうえに各関係機関との連携もとれていないのは協働事業としてどうなのか。
- ・事業には色々な人達が係り場作りをしているのでその点をもっと評価すべき。
- ・事業についての視点の充て方がピンポイントと大きなポイントを一緒にしすぎて

いる。

- ・市だけでなく、地域を知っている社協などを協働の相手として入れるべきではなかったのか。

会長

- ・対象の階層が広くなかなかポイントを絞りきれず、有効性を発揮できていない。
- ・協働事業が出てきたときの担当課の選定について整理が必要である。
- ・条例評価委員会にも関係する所管課が出席すべき。

評価

4. 不十分であり改善が必要である。

(3) 誰でも食育先生による体験型食育講座(幼稚園保護者向け食育を楽しむ会・子育てママのための食育講座)

武庫川女子大学国際健康開発研究所食育グループ Healthy+(ヘルシープラス)・健康増進課

事務局より

- ・概要についての説明

委員

- ・こういった事業は、市民に広く公開することによって波及効果があるので、広報を積極的にしてほしかった。
- ・担当課として横のつながりが弱かったので、人を集めることができなかったのではないか。

評価

3. 課題はあるがほぼ適切である

(4) 中高齢者の認知症予防啓発活動

特定非営利活動法人 認知症予防サポートネット・高齢福祉課

事務局より

- ・概要についての説明

委員

- ・費用の大半が講師の件費に使用されており他の費用に比べて件費が高すぎる。
- ・認知症の予防ならもっと対象者の年齢を低くすべきではないか。
- ・講座には多くの方が参加しているので、参加している方に意見を求めるべきではないか。

会長

- ・実績報告書に記載漏れがあり、評価が出来ないので、次回に担当課の回答を聞いてから評価する。

評価

この事業については、書類に未記載がある為、次回に評価を持ち越しとする。

(5)「西宮てらこや2012」

西宮てらこや・青少年育成課

事務局より

- ・概要についての説明

委員

- ・事業のプログラムはよくわかるが、指導者が何をしているのかわからない。実際に人数がこれだけいるのか疑問である。
- ・対象者の幅が広く、初対面同士で交流をするので、子供にも学生にもいい経験になったのではないか。
- ・こういう事業は補助金を支出せずに、場所や情報を提供するだけの協働事業があってもいいのではないか。

評価

2. 適切である

(6)(テーマ設定型)

“まち”としてのふるさとづくり一緒に始めてみませんか？～人と人をつなぐ“ひと”づくり～

特定非営利活動法人 西宮市マンション管理組合ネットワーク・景観まちづくり課

事務局より

- ・概要についての説明

委員

- ・事業主旨では、地域が主体となり、まちづくりの担い手を育成していくとあるが実際には違っているのではないか。
- ・地域への呼びかけに根回しができておらず、地域と折り合いが取れていないのではないか。
- ・謝礼が高すぎるのではないか。実際の活動から比べると費用対効果が低いのではないか。
- ・実際に3回のワークショップでこの内容を行うのは難しいのではないか。
- ・準備が不足しているように思われる。
- ・事業には専門家が入っていると思うが、その内容が住民まで落とし込まれているかは疑問である。
- ・担当課も状況によっては、事業のストップをしてもよかったのではないか。

評価

4. 不十分であり改善が必要である。

議題3 平成24年度の協働の取組状況一覧に掲載された協働事業の 検証対象事業の選定について

下記の5事業を検証対象事業として選定し、次回に評価を実施する。

- (1) 西宮親子劇場(親子劇場映画会)
- (2) 西宮市青少年問題フォーラム
- (3) 「カレッジタウン西宮」推進事業
- (4) にしのみや食育フェスタ2012
- (5) 西宮市市民健康講座

3. その他

委員

- ・本日の評価について、報告書の内容を見る限りでは、提案団体と担当課の協議・協力等について依頼した内容が反映されておらず、不十分と思われる。最終の評価報告書を作成するときはその旨も記載してほしい。
- ・提案団体を育てていくという気持ちを行政にはもっと持ってほしい。
- ・報告書が去年に比べて見やすくなっているようで、ここでの指摘が活かされている。

事務局より

「平成24・25年度 協働事業の変更等状況一覧」について説明をおこなう。

4．事務連絡

事務局より第3回目の条例評価委員の開催日と内容を伝達する。

5．閉会